



2026年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年5月15日

上場会社名 株式会社岐阜造園 上場取引所 東 名
 コード番号 1438 URL <https://www.gifu-zohen.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 準
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理部長 (氏名) 兼松 正道 TEL 058-272-4120
 半期報告書提出予定日 2026年5月15日 配当支払開始予定日 2026年6月1日
 決算補足説明資料作成の有無：無
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年10月1日～2026年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期中間期	3,385	11.9	484	49.1	490	48.5	341	52.4
2025年9月期中間期	3,024	12.3	324	△5.7	330	△5.2	223	△8.0

(注) 包括利益 2026年9月期中間期 413百万円 (68.8%) 2025年9月期中間期 244百万円 (△7.8%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期中間期	105.14	104.53
2025年9月期中間期	69.05	68.61

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期中間期	5,882	4,499	76.5
2025年9月期	5,776	4,144	71.7

(参考) 自己資本 2026年9月期中間期 4,498百万円 2025年9月期 4,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	18.00	—	18.00	36.00
2026年9月期	—	20.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の連結業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,500	3.7	690	28.2	700	27.6	469	22.0	144.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

連結業績予想の修正については、本日（2026年5月15日）公表いたしました「2026年9月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（中間期）

2026年9月期中間期	3,244,600株	2025年9月期	3,244,600株
2026年9月期中間期	387株	2025年9月期	387株
2026年9月期中間期	3,244,213株	2025年9月期中間期	3,242,213株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景とした個人消費の持ち直しに加え、円安水準の継続によるインバウンド需要の拡大が観光・サービス業を強力に下支えし、緩やかな回復基調が継続いたしました。一方で、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格の不安定な動きや、主要国の金融政策を受けた為替相場の変動など、依然として先行き不透明な状況が続きました。企業の景況感においては、人手不足への対応としての省力化投資に加え、カーボンニュートラルの実現に向けた「グリーン投資」への意欲が一段と高まりました。

建設業界においては、公共投資が「国土強靱化実施計画」に基づき、インフラの老朽化対策や防災・減災対策を中心に安定的に推移いたしました。民間投資においても、都市部における大規模再開発プロジェクトや、環境意識の高まりを背景としたオフィス・商業施設の緑化需要が活発に推移いたしました。一方で、物流・資材コストの高止まりに加え、深刻化する労働力不足による労務費の上昇が収益の圧迫要因となっております。また、「建設業の2024年問題」への対応として、適切な工期設定や生産性向上のためのデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進が、業界全体の最優先課題として定着いたしました。

このような状況の下で、当社グループは、持続的な企業価値向上を目指し、施工力・提案力の強化と人材育成に注力してまいりました。人材面では、若手層・中堅層の育成を目的とした研修制度「岐阜造園アカデミー」の充実を図るとともに、働き方改革を背景に、多様な働き方への対応と生産性向上に取り組みました。事業面では、ガーデンエクステリアにおいて、大手ハウスメーカーとのパートナーシップを一段と深め、高付加価値な提案による受注単価の向上に努めました。ランドスケープにおいても、高級商業施設や宿泊施設を中心に、新規案件の受注に注力しました。売上・利益に関しては、中部地区の大型商業施設や関東地区の高級リゾートホテルの造園緑化工事の完工等により、計画を上回るペースで順調に推移しております。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は3,385,263千円(前年同期比11.9%増)、営業利益は484,640千円(前年同期比49.1%増)、経常利益は490,817千円(前年同期比48.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は341,108千円(前年同期比52.4%増)となりました。

なお、当社グループは造園緑化事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当中間連結会計期間末における総資産は、現金及び預金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて106,247千円増加し、5,882,580千円となりました。

負債は、支払手形・工事未払金が減少したこと等により、前連結会計年度末に比べて248,362千円減少し、1,383,489千円となりました。

また、純資産は、利益剰余金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べて354,610千円増加し、4,499,091千円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」といいます。)の残高は、前連結会計年度末に比べ106,008千円増加し、2,724,809千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は268,760千円(前年同期は63,208千円の使用)となりました。これは主に、税金等調整前中間純利益490,817千円、売上債権の減少額133,420千円等の資金の増加に対して、仕入債務の減少額148,755千円、未払金の減少額148,084千円、法人税等の支払額87,558千円等の資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は91,054千円(前年同期は32,293千円の獲得)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出41,850千円、無形固定資産の取得による支出40,684千円、保険積立金の積立による支出7,270千円等の資金の減少によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は71,697千円(前年同期は10,077千円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額58,365千円、長期借入金の返済による支出13,332千円の資金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後の事業環境、経済状況の変化等様々な要因により予想と大きく異なる可能性があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,631,424	2,737,436
受取手形・完成工事未収入金	1,110,267	976,847
未成工事支出金	14,182	28,280
販売用不動産	42,241	29,912
その他	68,137	72,926
貸倒引当金	△4,901	△4,122
流動資産合計	3,861,351	3,841,279
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	435,225	423,512
土地	938,169	963,703
建設仮勘定	—	5,600
その他(純額)	20,993	31,346
有形固定資産合計	1,394,388	1,424,162
無形固定資産	32,630	72,683
投資その他の資産		
その他	494,680	551,174
貸倒引当金	△6,719	△6,719
投資その他の資産合計	487,961	544,455
固定資産合計	1,914,981	2,041,300
資産合計	5,776,333	5,882,580
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金	566,668	417,913
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	26,664	23,304
未払法人税等	103,550	132,748
未成工事受入金	83,469	111,387
賞与引当金	44,963	38,166
完成工事補償引当金	15,555	16,339
その他	354,497	206,978
流動負債合計	1,395,368	1,146,838
固定負債		
長期借入金	25,272	15,300
役員退職慰労引当金	169,118	172,728
退職給付に係る負債	41,632	43,933
その他	460	4,688
固定負債合計	236,482	236,650
負債合計	1,631,851	1,383,489

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年9月30日)	当中間連結会計期間 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	412,833	412,833
資本剰余金	354,132	354,132
利益剰余金	3,278,956	3,561,669
自己株式	△282	△282
株主資本合計	4,045,639	4,328,352
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	98,010	169,907
その他の包括利益累計額合計	98,010	169,907
新株予約権	831	831
純資産合計	4,144,481	4,499,091
負債純資産合計	5,776,333	5,882,580

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
売上高	3,024,473	3,385,263
売上原価	2,128,615	2,341,964
売上総利益	895,858	1,043,298
販売費及び一般管理費	570,901	558,657
営業利益	324,957	484,640
営業外収益		
受取配当金	2,827	3,594
受取地代家賃	4,374	4,457
受取保険金	1,804	2,282
その他	1,252	857
営業外収益合計	10,258	11,191
営業外費用		
支払利息	785	1,162
不動産賃貸費用	3,842	3,847
その他	0	4
営業外費用合計	4,628	5,014
経常利益	330,587	490,817
特別損失		
減損損失	4,364	—
特別損失合計	4,364	—
税金等調整前中間純利益	326,222	490,817
法人税、住民税及び事業税	83,933	121,698
法人税等調整額	18,404	28,009
法人税等合計	102,338	149,708
中間純利益	223,884	341,108
親会社株主に帰属する中間純利益	223,884	341,108

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
中間純利益	223,884	341,108
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	20,803	71,897
その他の包括利益合計	20,803	71,897
中間包括利益	244,688	413,006
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	244,688	413,006

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	326,222	490,817
減価償却費	18,550	18,082
減損損失	4,364	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	900	△778
賞与引当金の増減額(△は減少)	△11,333	△6,796
完成工事補償引当金の増減額(△は減少)	294	784
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△40,729	3,610
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,325	2,301
受取利息及び受取配当金	△2,873	△3,744
支払利息	785	1,162
売上債権の増減額(△は増加)	△216,051	133,420
販売用不動産の増減額(△は増加)	11,101	12,329
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△2,222	△14,098
仕入債務の増減額(△は減少)	△33,962	△148,755
未払金の増減額(△は減少)	6,176	△148,084
未成工事受入金の増減額(△は減少)	13,717	27,918
その他	△50,699	△14,430
小計	25,566	353,737
利息及び配当金の受取額	2,873	3,744
利息の支払額	△785	△1,162
法人税等の支払額	△90,863	△87,558
営業活動によるキャッシュ・フロー	△63,208	268,760
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,001	△3,004
定期預金の払戻による収入	53,001	3,001
有形固定資産の取得による支出	△4,830	△41,850
無形固定資産の取得による支出	△5,163	△40,684
投資有価証券の取得による支出	△452	△488
保険積立金の積立による支出	△7,270	△7,270
その他	10	△758
投資活動によるキャッシュ・フロー	32,293	△91,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	—
長期借入金の返済による支出	△11,404	△13,332
配当金の支払額	△48,673	△58,365
財務活動によるキャッシュ・フロー	△10,077	△71,697
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△40,993	106,008
現金及び現金同等物の期首残高	2,385,018	2,618,800
現金及び現金同等物の中間期末残高	2,344,025	2,724,809

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループは、造園緑化事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。